

# 低炭素社会の実現に向けて ～電力自由化と廃棄物発電～

廃棄物処理に不可欠な焼却施設は、衛生的処理という役割だけでなく、減容効果が高く、埋立処分場の確保という問題を緩和してくれます。その上、廃棄物の持っているエネルギーを回収して発電や熱を供給するという大切な役割を持っています。

一方、2016年4月より電力自由化が始まり、自治体や産業廃棄物処理業者にとっては、電力ビジネスに参入する大きなチャンスでもあり、また電力供給の責任を果たす義務を担うこととなります。

そこで今回のシンポジウムでは、焼却施設における発電のもたらす付加価値を最大にして、地元住民からも喜ばれる施設にしていくために、どのような施策があるのか、また廃棄物を物質やエネルギー資源としてとことん生かすにはどうしたらよいかを学ぶ場として企画いたしました。

環境省からは「電力自由化に伴う廃棄物発電のチャンス」、自治体からは「廃棄物発電の現状」、学識経験者からは「電気事業法の改正と廃棄物発電の留意事項」について講演をいただき、プラントメーカーからは「電力自由化と焼却施設の運転技術」について解説していただきます。その後「低炭素社会の実現に向けて～電力自由化と廃棄物発電～」について議論します。

大阪  
会場

11/17(火)  
13:30～16:30

御堂会館 南2階ホール

〒540-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-11

東京  
会場

11/20(金)  
13:30～16:30

全水道会館 大会議室

〒113-0033 東京都文京区本郷1-4-1

【定員】 各会場100名（座席の都合上、定員になり次第締め切らせていただきます。）

【参加費】 協賛団体、協力団体会員：5,000円 非会員：10,000円 自治体職員：4,000円 学生：3,000円

主催：(株)廃棄物工学研究所 特別協力：公立鳥取環境大学 後援：環境省(申請中)

協賛：(一財)日本環境衛生センター、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(公社)全国産業廃棄物連合会  
(公財)産業廃棄物処理事業振興財団、(公財)廃棄物・3R研究財団、(一社)プラスチック循環利用協会

## プログラム

### 13:30 開会の挨拶・シンポジウム企画趣旨

公立鳥取環境大学 客員教授 田中 勝

### 13:50 基調講演：電力自由化に伴う廃棄物発電のチャンス

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部  
廃棄物対策課 課長 和田 篤也 氏(大阪)  
課長補佐 元部 弥 氏(東京)

### 14:20 地方行政解説：廃棄物発電の現状～横浜市の場合～

横浜市資源循環局 適正処理計画部 部長 足立原 敬一 氏

### 14:40 地方行政解説：廃棄物発電の現状～岡山市の場合～

岡山市環境局 東部クリーンセンター 所長 佐山 陽一 氏(大阪)  
局長 甲斐 充 氏(東京)

### 15:00 休憩

### 15:10 特別講演：電気事業法の改正と廃棄物発電の留意事項

千歳ごみ発電企画  
代表 千歳 昭博 氏

### 15:30 技術解説：電力自由化と焼却施設の運転技術

一般社団法人 日本環境衛生施設工業会技術委員会  
委員長 近藤 守 氏

### 15:50 パネルディスカッション

「低炭素社会の実現に向けて～電力自由化と廃棄物発電～」

コーディネータ：田中 勝

パネリスト：上記講演者

### 16:30 閉会

#### お申込み方法

●ホームページ(<http://www.riswme.co.jp>)より参加申込用紙をダウンロードし、FAX 086-239-5303にて、お申し込みください

●E-mailでお申込の際は、裏面に記載してある申込内容をご記入の上、[info@riswme.co.jp](mailto:info@riswme.co.jp) にお送り下さい

#### お振込先

●りそな銀行 芝支店(普)1490768 カ)ハイキブツコウガクケンキュウシヨ

※参加費は事前振込でお願い致します。また、お振込名について参加代表者個人名でお願い致します